

戦災を免れた第一級資料群!!

戦時下における映画の興行状況を克明に記した

内部資料および封切作品目録を復刻。

映画公社
旧蔵
戦時統制下映画資料集

東京国立近代美術館フィルムセンター監修

第Ⅲ期
統制下の映画館・作品目録
全九巻

甲級	乙級	丙級	丁級
初期通算八ヶ月迄	初期通算一六ヶ月迄	初期通算一八ヶ月迄	初期通算二一ヶ月迄
(一)五分ニテ損傷ヲ生起セルモノ	(一)五分ニテ損傷ヲ生起セルモノ	(一)五分ニテ損傷ヲ生起セルモノ	(一)五分ニテ損傷ヲ生起セルモノ
一部取替	一部取替	一部取替	一部取替
五分以内ニテ損傷ヲ生起セルモノ	五分以内ニテ損傷ヲ生起セルモノ	五分以内ニテ損傷ヲ生起セルモノ	五分以内ニテ損傷ヲ生起セルモノ

映寫機

技師名	主任技師名	総数	大サ	小サ
依原			六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百	

劇場

所在地	興行種類	興行場經營者	氏名	住所
静岡	演劇	演劇	静岡市	静岡市
	演劇	演劇	静岡市	静岡市



ゆまに書房

プロパガンダの一季節

——映画公社旧蔵資料の復刻にあたって

東京国立近代美術館フィルムセンター

日本映画の戦時体制は、業界のプロフェッショナルが議論を重ね、物資を切り詰め、ぎりぎりまで制度を簡素化することで成立した。そうした非常時に、映画の本質的な業務である「製作・配給・興行」を垂直的に統制する任を負って発足した社団法人映画公社は、いわば戦時映画統制の究極の形態であった。一九四五年六月一日に業務を開始し、敗戦後の十一月三十日に解散したこの短命組織は、配給業務を一手に担った映画配給社のほか、官民合同の統制機関だった大日本映画協会、大日本興行協会・映画部などの団体を統合して成立したものである。職能集団として夏はプロパガンダの実務に徹し、そして秋にはプロパガンダの終焉に、つまり「日本映画の敗戦処理」にも立ち会うこととなった。

この団体が存在した、たった六ヶ月の意味はこのほか大きい。そこには、戦前期にあつて映画界の資料を意識的に収集していたキネマ旬報社調査部の旧蔵品も含め、さまざまな業界団体の蓄積してきた資料が集まっていた。ここには、映画新体制の啓発、映画を介した国民運動、青少年を含む観客の指導、映画資材の管理と節約、全国の映画館調査表、戦時下の映画をめぐるマスコミの動向、映画会社の企画審議、外地の映画状況の報告、南方占領地での映画宣撫工作、映画法に基づく映画人の技能審査など、この時代が強い驚くべき主題の拡がりがある。

戦後発足した日本映画連合会（現在の日本映画製作者連盟）に引き継がれたこうした資料は、一九五一年に国立国会図書館に寄贈され、のちの一九七四年に日本初の国立映画機関たる東京国立近代美術館フィルムセンターに移管された。今回の復刻は、フィルムセンター図書室にありながら長い間整理に着手する余裕がなかった資料が、二〇一一年度によりやくリスト化されたことが契機となった。その成果はまず「東京国立近代美術館紀要」第十六号（二〇一二年）で佐崎順昭により発表されたが、この度の復刻版の出版にあたっては、中でも戦時下の映画の風景を生々しく描出していると判断された大多数の資料を選び出した。

手前味噌ながら、太平洋戦争と映像メディアの関わりを知ろうとする多くの人々にとって、この資料が等閑視されることはもはや考えにくいと思われる。研究のためのマテリアルとして、この資料を、映画研究者はもちろん、現代史、メディア史などに携わる幅広い分野の方々を活用されることを望む。

（主任研究員・岡田秀則）

劇場・演藝場

昭和十八年八月三十一日現在



分類	劇場名		所在地	都道府県
	浪花座		大阪	大阪
興行	興行種別	興行場経営者	住所	氏名
	演藝場		大阪中津区久松町	近藤久太郎
建築	様式	階数	開口	高さ
	木造	2	10間	6.5
定員	椅子座	立見席	有蓋	薬座
	1167名	567名	72名	13室
使用人	事務	案内	其他	合計
	4名	7名	18名	29名
入場料	普通	一等	小人	薬座内室
	大人 21 小人 16	大人 163 小人 97		1室 65
昭和十七年度成績表	興行日数	入場者数	興行収入	
	364日	1311,930名	1,865,054圓	27 銭

●大日本興行協会 劇場・演藝場調査表 近畿地方

※収録資料名及び解説については、佐崎順昭氏が作成した「映画公社旧蔵資料目録」（東京国立近代美術館研究紀要 第16号、東京国立近代美術館、二〇一二年）に準拠した。

第一回配本 全4巻

第26巻 ● 考査部資料 入場人員調査表 (一九四三年)

- 市町村別人口当り月平均入場人員比較表 昭和十七年度前半期
考査部資料 第九輯 昭和十七年八月九月分 全国歩合館興行収入
入場人員調査表 附九月分諸統計表
考査部資料 第三輯 昭和十七年一月二月分 全国歩合館興行収入
入場人員調査表
[映画配給社資料] 映画配給社事務局考査部統計課編

第27巻 ● 映写機状態検査書 (東京(甲級・乙級))

- 興行場映写機機能査定及検査基準
[映画配給社資料] 映画配給社関東支社技術課作成によるもの(一九四三年一月三日付) 映写機の査定級と検査基準について説明。
映写機状態検査書 東京都地区 甲級乙級

第28巻 ● 映写機状態検査書 (地方(甲級・乙級))

- 映写機状態検査書 地方 甲級乙級
本資料は映写機の状態により以下のように分けて記録。神奈川県第一区甲級、静岡県第一区甲級、群馬県第一区甲級、埼玉県第一区甲級、栃木県第一区乙級、新潟県第一区乙級、茨城県第一区乙級、長野県第一区乙級、千葉県第一区乙級、群馬県第二区乙級、茨城県第二区乙級、福島県第一区乙級、新潟県第二区乙級、新潟県第三区乙級、新潟県第四区乙級、宮城県第一区乙級、宮城県第二区乙級、宮城県第三区乙級、山形県第一区乙級、山形県第二区乙級、山形県第三区乙級、山形県第四区乙級、山形県第五区乙級。
本資料は約一九三九館。

第29巻 ● 映写機状態検査書 (東京/地方(丙級・C、D級))

- 映写機状態検査書 東京都地区 他地方 丙級
本資料は映写機の状態により以下のように分けて記録。東京都第一区丙級、東京都第二区丙級、東京都第三区丙級、神奈川県第一区乙級、静岡県第一区乙級、千葉県第一区丙級、茨城県第二区丙級、福島県第一区丙級、長野県第一区丙級、栃木県第一区丙級、群馬県第一区丙級、群馬県第二区丙級、宮城県第一区丙級、宮城県第二区丙級、宮城県第三区丙級、山形県第一区丙級、山形県第二区丙級、山形県第三区丙級、山形県第四区丙級、山形県第五区丙級。
本資料は約一九二二館。

第30巻 ● 大日本興行協会 劇場・演芸場調査表 (北海道・樺太)

- 大日本興行協会 劇場・演芸場調査表 北海道(北海道・樺太)
劇場・演芸場調査表Ⅱ [大日本興行協会資料] 全国各地の劇場が財団法人大日本興行協会作成の「劇場・演芸場調査表」(一九四三年八月三十一日現在)に劇場・演芸場名称、所在地、電話番号、興行種別(演劇、演劇、映画、兼用の別)、興行場経営者、興行種別(演劇、演劇、映画、兼用の別)、照明設備、映写設備、定員、使用人、入場料、昭和十七年度成績表(興行日数、入場者数、興行収入)等を記入したもの。
本資料は北海道二九館、樺太三八館を収録。

第31巻 ● 大日本興行協会 劇場・演芸場調査表 (東北地方)

- 大日本興行協会 劇場・演芸場調査表 東北地方(青森・秋田・岩手・宮城・福島・山形)
本資料は青森二二館、秋田六一館、岩手三九館、宮城八館、福島六四館、山形三八館を収録。

第32巻 ● 大日本興行協会 劇場・演芸場調査表 (関東・北陸地方)

- 大日本興行協会 劇場・演芸場調査表 関東地方(東京・神奈川・千葉・埼玉・茨城・群馬・山梨)
本資料は東京七三館、神奈川三〇館、千葉四九館、埼玉八館、茨城七一館、群馬一九館、山梨三三館を収録。
大日本興行協会 劇場・演芸場調査表 北陸地方(長野・新潟・富山・福井・石川)
本資料は長野四三館、新潟三八館、富山一〇館、福井一七館、石川一八館を収録。

第33巻 ● 大日本興行協会 劇場・演芸場調査表 (中国・四国・九州地方)

- 大日本興行協会 劇場・演芸場調査表 中国地方(鳥根・広島・山口)
本資料は鳥根六館、広島五四館、山口三八館を収録。なお、鳥取、岡山の調査表はない。
大日本興行協会 劇場・演芸場調査表 四国地方(徳島・香川・高知)
本資料は徳島三五館、香川三五館、高知三九館を収録。なお、愛媛の調査表はない。

第34巻 ● 映画作品目録・他

- 会社別監督作品目録(大部・全勝) 一九三五年〜一九四〇年
[日本映画雑誌協会資料] 一九三五年一月頃〜一九四〇年一月頃までの大都映画および全勝キネマの作品情報(題名、キネマ旬報紹介号、批評号、巻数・メートル数、封切年月日等)を列記。
封切作品目録 一九四一年〜一九四三年
[日本映画雑誌協会資料] 一九四〇年二月末〜一九四三年二月頃までの各社作品情報(題名、巻数・メートル数、映画旬報紹介号・批評号・興行価値、演出者、封切年月日、封切館、広告掲載号数等)を列記。松竹大船、松竹京都、大映、高麗映画協会、朝鮮映画、中華映画、満洲映画協会等、約一三〇の会社別に分類。
映画配給社封切作品一覧表
映画配給社による紅白系の一元配給が開始された、一九四二年四月から一九四三年二月までの手書きの作品リストのノート。
劇映画三社作品別一覧表(昭和十七年)
再映物一覧表
映画製作用資材調査表(松竹・大映分) 昭和一八年度

第35巻 ● 興行場映写機機能査定及検査基準

Table with columns for inspection items and standards, including terms like '映写機機能査定' and '検査基準'.

(五) 興行場映写機機能査定及検査基準

(七) 興行場映写機機能査定及検査基準

Summary table for 10 months (10月分) with columns for theater name, audience, and revenue.

Main table for 10 months (10月分) with columns for theater name, audience, and revenue.

(上) 考査部資料 第13輯 昭和17年10月11月12月分 全国歩合館興行収入入場人員調査表

(左) 映写機状態検査書 東京都地区 甲級乙級

Detailed inspection form for a movie theater, including fields for theater name, location, equipment details, and inspection date.

(左) 映写機状態検査書 東京都地区 甲級乙級

劇場・演藝場調査表

昭和十八年八月三十一日現在

第 號

分類	劇場名 新築劇場	所在地 山口県宇部市西區助町一丁目番地	電話番號 355
興行種別	演劇 演藝	事務所 宇部市大字旅曲122番地 氏名 松本定一	事務所 下関市伊崎町268番地 氏名 保良菊之助
建築様式	木造スチール骨筋2階10造	敷地 225.33坪	建築坪 139.649坪
舞台	7間 開口 4間 奥行 6間	照明 投光機4台 脚光設備	映設 12(2階映室設備)
定員	1091名	椅子座 900名 座席 91名	立見席 100名 樂座 10室 30坪
使用人	事務 2名	案内 6名	其他 5名 合計 14名
入場料	普通 大人 5.00 小人 3.50 最上 大人 8.00 小人 5.00	一等 大人 6.50 小人 5.00 最上 大人 10.00 小人 6.00	樂座 有(收費人員3名)
昭和十七年度成績表	興行日數 日	入場者數 名	興行收入 圓
備考	当劇場の結束映画館としての業務は昭和十八年一月一日以降 降意劇場として、演劇場として、演藝場として、昭和十七年度、 演劇場として、演藝場として、演劇場として、昭和十七年度、 自昭和十八年一月一日 至昭和十八年六月 興行 173日 入場者 77,647人 興行 57,140圓3角		

●(左) 大日本興行協会劇場・演藝場調査表中国地方

日	題名	社名 No.	米数	推認免	演出者	主演者	封切圓計(4冊)	日	題名
4	1 糸の大地	東 1	(72)3237		第津保次郎	原入江・藤田	426 円	4	父女
	8 (続映)								(続)
	16 母よ歎く句	教 1	(8)2192	X	深田修造	瀧部 宇佐美	(新巻2作目)		十五
	23 間諜未だ死せぬ	松 2	(12)3210	X	吉村公三郎	原保美・水戸 博	495 円		待つ

●(上) 映画配給社封切作品一覧表

品名		用途	原簿	決定数量	実取数量	決定者
小	トール	現像用	250	450	469	
小	ハイロソフ		1150	570	685	
小	武水鏡ソーダ		47	260	266	
小	クエン酸		517	240	250	
小	クエン酸		27	30	25	
小	クエン酸		22	30	30	
小	クエン酸		27	30	40	
小	クエン酸		157	250	267	
小	クエン酸		27	200	200	
小	クエン酸		47	70	75	
小	クエン酸		440	70	70	
小	クエン酸		27	400	570	
小	クエン酸		27	1100	1100	
小	クエン酸		27	4227.16	4227.16	
小	クエン酸		27	4227.16	4227.16	
小	クエン酸		27	4320	4320	
小	クエン酸		27	3000	3000	
小	クエン酸		27	3000	3000	
小	クエン酸		27	3000	3000	

●(左) 映画製作用資材調査表 松竹・大映 昭和十八年度

封切日	巻数	題名	製作社	巻米数
17.1.28	東宝系	造船の話	日本文化映	3-866
17.1.29	松竹系	演劇九十九里浜	日大芸術科	1-314
17.1.29	日新系	種馬育成	山口キネマ	3-257
17.2.4	東宝系	戒子保母の記録	芸術映画社	6-1446
17.2.5	松竹系	阿波の木偶	大映・東映	3-764
17.2.5	日新系	東大寺大佛殿	合同映画	2-377
17.2.5	SY系	侵略基地の対峙	日映	1-357
17.2.11	東宝系	珠江	芸術映画	8-1598
17.2.11	SY系	大東亞撃滅戦記	日映	2-2197
17.2.11	松竹系	海軍上士とスカーフ	日映(有田)	4-945
17.2.12	松竹系	砂漠土地帯	十字屋	3-766
17.2.12	松竹系	上海租界	日映	1-267
17.2.12	日新系	(1)伊太利(2)国民学校	日本映画社	2-572

●(左) 劇映画三社作品月別一覧表(昭和十七年)

映画公社 旧蔵 戦時統制下映画資料集

第Ⅲ期…………… 統制下の映画館・作品目録 全9巻

【監修】東京国立近代美術館フィルムセンター

A4判上製・カバー装

●揃定価：本体230,000円+税

ISBN978-4-8433-4927-4 C3374

第1回配本・全4巻

揃定価：本体104,000円+税 ISBN978-4-8433-4928-1 C3374

2016年1月刊行予定

- 26 ■ 考査部資料 入場人員調査表 (1943年) 定価：本体20,000円+税 ISBN978-4-8433-4930-4
- 27 ■ 映写機状態検査書 東京(甲級・乙級) 定価：本体25,000円+税 ISBN978-4-8433-4931-1
- 28 ■ 映写機状態検査書 地方(甲級・乙級) 定価：本体31,000円+税 ISBN978-4-8433-4932-8
- 29 ■ 映写機状態検査書 東京/地方(丙級・C、D級) 定価：本体28,000円+税 ISBN978-4-8433-4933-5

第2回配本・全5巻

揃定価：本体126,000円+税 ISBN978-4-8433-4929-8 C3374

2016年5月刊行予定

- 30 ■ 大日本興行協会 劇場・演芸場調査表 北海・東北地方 定価：本体19,000円+税 ISBN978-4-8433-4934-2
- 31 ■ 大日本興行協会 劇場・演芸場調査表 関東・北陸地方 定価：本体25,000円+税 ISBN978-4-8433-4935-9
- 32 ■ 大日本興行協会 劇場・演芸場調査表 東海・近畿地方 定価：本体25,000円+税 ISBN978-4-8433-4936-6
- 33 ■ 大日本興行協会 劇場・演芸場調査表 中国・四国・九州地方 定価：本体24,000円+税 ISBN978-4-8433-4937-3
- 34 ■ 映画作品目録・他 定価：本体33,000円+税 ISBN978-4-8433-4938-0

本書の内容と特徴

●戦時映画統制下の興行の様相を伝える内部資料

手書きの封切作品目録、映写機状態検査書、劇場・演芸場調査表は、これまで一般の眼に触れることのなかった資料群である。

●戦時下のメディア史、映画史、地方史研究に必須

劇場・演芸場調査表には樺太から鹿児島までの各劇場等が記録されている。「映画年鑑」に掲載されていない興行場や娯楽場も調査の範囲となっており、戦時下における各地方の娯楽、映画受容を知る上で貴重である。

映画公社旧蔵資料 1945年6月に業務を開始し、終戦を経て同年11月に解散した社団法人映画公社が所蔵していた映画関係資料の一部である。東京国立近代美術館フィルムセンターに長い間保管されており、その膨大な資料は映画研究者・佐崎順昭氏によって2011年度に整理、リスト化された。

好評発売中

映画公社旧蔵
戦時統制下
映画資料集

●第Ⅰ期● 統制下の映画界 全9巻 [解題] 佐崎順昭

揃定価：本体215,000円+税 ISBN978-4-8433-4348-7 C3374 A5判上製・カバー装
終戦時の混乱を免れて生き延びた、戦時下の映画の風景を生々しく伝える極めて稀少な第一級資料群。

●第Ⅱ期● 統制下の映画記事・批評・広告 全16巻

揃定価：本体400,000円+税 ISBN978-4-8433-4707-2 C3374 A4判上製・カバー装
戦災を免れた第一級資料群!! あらゆる新聞、雑誌から集めた唯一無二のスクラップブックを初集成。



〒101-0047
東京都千代田区内神田2-7-6
TEL.03(5296)0491
FAX.03(5296)0493
<http://www.yumani.co.jp/>
e-mail eigyou@yumani.co.jp

★特にお薦めしたい方
映画史、メディア史、歴史学、思想史、社会史、政治史、近代史、文化史、風俗史などの研究者・研究機関。大学図書館。映像・メディア関係専門学校。海外の日本学関連研究施設など。

注文書	ゆまに書房 Tel.03(5296)0491/Fax.03(5296)0493 年月日		取扱店	
	映画公社旧蔵 戦時統制下映画資料集 第Ⅲ期 全9巻 ●揃定価：本体230,000円+税 ISBN978-4-8433-4927-4 C3374			セット
	お名前			
ご住所	TEL ()			